



2022 年 10 月 28 日

各 位

上 場 会 社 名 四国電力株式会社
 代 表 者 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介
 (コード番号 9507、東証プライム市場)
 問 合 せ 先 経理部 管理グループリーダー 松尾 寛
 (TEL 087-821-5061)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022 年 7 月 29 日公表の「2023 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」において未定としていた 2023 年 3 月期通期の連結業績予想について、下記のとおり、お知らせいたします。

記

● 連結業績予想の修正について

2023 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想 (B)	855,000	△45,000	△30,000	△25,000	△121.00
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	
増 減 率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022 年 3 月期)	641,948	△13,517	△12,114	△6,262	△30.44

修正の理由及び通期連結業績予想に関する定性的情報

(修正の理由)

ロシアのウクライナ侵攻以降、燃料価格の先行きは一層不透明な状況が続いており、通期の業績を見通すことが困難であることから、未定としていましたが、今回、一定の前提を置いて算定しました。

なお、期末配当予想については、今後の燃料価格の動向等に伴う収支影響を見極めることとし、引き続き「未定」といたします。

(通期連結業績予想に関する定性的情報)

売上高は、燃料費調整額や卸販売収入の増などにより、前年度に比べ、2,130 億円増加の 8,550 億円と予想しています。

利益については、燃料価格の高騰等に伴い需給関連収支が悪化することなどから、前年度に比べ、営業利益は 314 億円悪化の△450 億円、経常利益は 178 億円悪化の△300 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 187 億円悪化の△250 億円と予想しています。

なお、燃料価格高騰に伴い、燃料費調整額の算定諸元となる平均燃料価格が、燃料費調整の上限価格(＝基準燃料価格の 1.5 倍)を超えていることに伴う通期の料金回収不足額(＝当社負担額)は 500 億円程度と予想しています。

※ 業績予想数値を算出する際に使用した前提諸元につきましては、別紙をご参照ください。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

1. 前提諸元(通期)

(億 kWh)

	今回発表
小 売 販 売	232.4
卸 販 売	98.9
総 販 売 電 力 量	331.3

	今回発表
石 炭 C I F (\$/t)	(430) 385
原 油 C I F (\$/b)	(95) 105
為 替 レ ー ト (円/\$)	(145) 139

() 内は下期

2. 2022年度見通しと前年度実績との差異内訳(連結経常損益)

(単位: 億円)

